

第2章 桜井市の景観特性

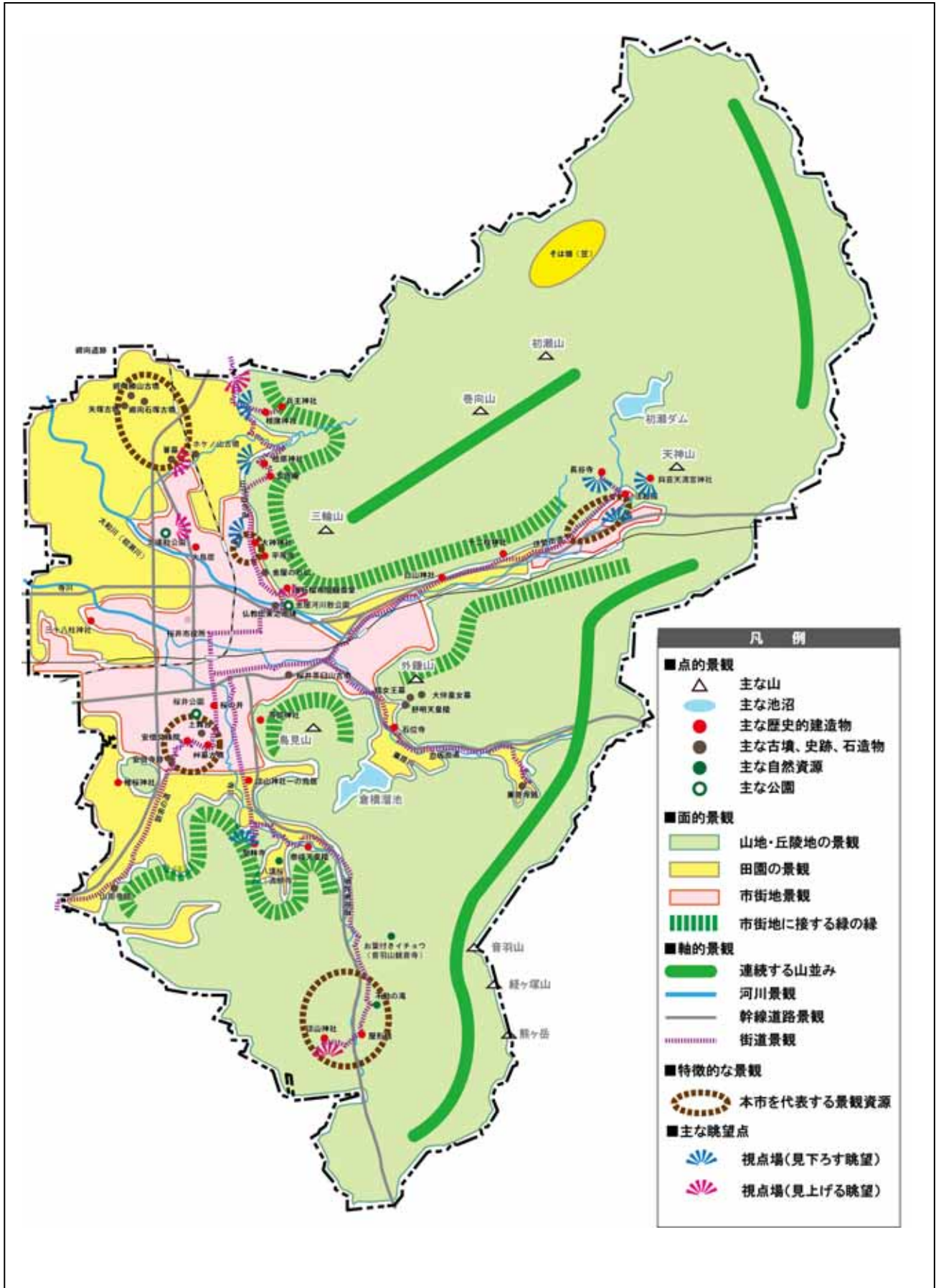
1. 景観資源

古来より日本の政治、社会の歴史舞台となった本市には、史跡や文化財が数多く残され、これらの一つひとつが重要な景観資源となっています。市内の代表的な景観資源を分類すると下記の通りとなります。

【桜井市の主な景観資源と種別】

分類要素	景観種別		景観資源
点的景観	山		三輪山、巻向山、初瀬山、天神山、音羽山、経ヶ塚山、熊ヶ岳、多武峰、真平山、鳥見山、御破裂山、外鎌山
	池沼		初瀬ダム、倉橋溜池、その他のため池
	自然単体	天然記念物	与喜山暖帯林、浄鏡寺旧境内アスナロの群落、初瀬のイチヨウの巨樹、お葉つきイチヨウ、ソテツの巨樹、瀧蔵神社社叢、安楽寺のエドヒガンザクラ、今井谷のシダレザクラ、御破裂山アカガシ林、押坂山口坐神社のクスノキ、與喜天満宮神社お旅所の紅梅、談山神社のエドヒガン（薄墨桜）
		その他	社寺境内に残る巨樹や優れた樹林、市（県）指定巨木
	歴史的文化遺産（文化財）	史跡、古墳等	山田寺跡、文殊院西古墳、栗原寺跡、花山塚古墳、天王山古墳、安倍寺跡、茶臼山古墳、艸墓古墳、珠城山古墳、メスリ山古墳、茅原大墓古墳、大神神社境内、吉備池廃寺跡、文殊院東古墳、谷首古墳、ムネサカ古墳（1号墳）、越塚古墳、ホケノ山古墳、上之宮遺跡、纏向石塚古墳、纏向矢塚古墳、勝山古墳、東田大塚古墳、箸墓古墳、土舞台、兜塚古墳、上之宮遺跡
		その他	多武峰町石 等
		社寺	談山神社、大神神社、長谷寺、白山神社、春日神社、安倍文殊院、與喜天満宮神社、聖林寺、桧原神社
		歴史的建造物	山田酒店主屋、堀井家、廊坊家
	公園		芝運動公園、金屋河川敷公園、倉橋溜池ふれあい公園、桜井公園 等
	面的景観	山地・丘陵地	郊外の緑
緑の緑			市街地から眺める山地の緑（青垣）
田園		市街化調整区域の農地、棚田、そば畑	
市街地		市街化区域の住宅地 等	
軸的景観	山並み		連続する山並み（三輪山～巻向山、音羽山～熊ヶ岳等）
	河川		大和川（初瀬川）、寺川、栗原川、纏向川 等
	広域幹線道路		国道169号、国道169号（バイパス）、国道165号、主要地方道桜井明日香吉野線、中和幹線 等
	街道		山の辺の道、多武峯街道、磐余の道、伊勢街道、忍坂街道、大和長寿道
特徴的景観	まちなみ		纏向遺跡周辺、大神神社周辺、安倍文殊院周辺、談山神社周辺、長谷寺周辺
眺望（視点対象）			三輪山、鳥見山、大和平野 等
眺望（視点場）	大和平野を眺望		相撲神社周辺、桧原神社周辺、大美和の杜展望台、聖林寺
	三輪山を眺望		三十八柱神社周辺、聖林寺
	その他		長谷寺、與喜天満宮神社
心象景観	祭り、伝統行事、イベント		大とんど、お綱祭り、おんぱら祭り、笠荒神大祭、けまり祭り、だだおし、大和さくらい万葉まつり、初瀬まつり 等

主な景観資源



2 . 景観特性

景観資源の整理を踏まえ本市の景観特性を把握します。先に挙げた個々の景観資源についても、近景で捉えたときに重要な景観資源となりますが、景観はさまざまな景観資源や空間が積み重なり構成されています。これを踏まえ、ここでは大きく「山地・丘陵地部の景観」「青垣から大和平野にかけての景観」「市街地の景観」等に分類し、特性を把握することとします。

(1) 山地・丘陵地の景観

市域の北部は三輪山、巻向山を起点として、これより大和高原地域に続く山稜が広がり、南部では多武峰や御破裂山、音羽山などの緑豊かな山稜の景観が連なっています。また、これらの山地・丘陵地とともにその谷間や裾野に形成された集落地や河川がまとまりのあるひとつの景観資源を創り出しています。

その他、笠地区のそば畑の風景や棚田など、豊かな自然環境を利用した人々との生活と関連の深いさまざまな生業の景観も見られます。



多武峰地区



多武峰地区内の集落



山地を流れる初瀬川と集落



出雲地区周辺の山並みと集落



棚田（桜井市総合計画）



そば畑（笠地区）

(2) 青垣から大和平野にかけての景観

市域北部では、青垣の三輪山麓から続く開放的な田園と集落からなる、のどかな田園景観を見ることができ、また、随所に古墳やため池などの景観資源が点在し、広がりのある田園景観に変化を与えています。これらの田園地域の景観は、田植えから稲刈りの時期まで稲の生育とともに絶えず変化し、継続的な農業活動が支える生業の景観で、日本のふるさとも感じさせる景観資源となっています。また、三輪山麓の“そうめん”を干す景観も本市独特の生業の景観です。



大和平野の田園



大和平野の田園（矢塚古墳周辺）



伊勢街道周辺の田園



大和川



ため池（箸墓古墳周辺）



そうめん作りの風景（桜井市観光HP）

(3) 市街地の景観

桜井駅周辺部の景観

桜井駅を中心に都市型住宅や商業施設が立地する都会的な景観が見られます。



桜井駅前（駅北側）



桜井駅前（駅北側）



桜井駅前（駅南側）



桜井駅前（駅南側）

住宅地の景観

中心市街地では高層住宅の立地にともない都市的なまちなみへと変化しており、三輪山など遠景への眺望がまちなかから望みにくくなっています。

一方、郊外部では計画的に面整備された緑豊かで閑静な戸建住宅地が見られます。



高層住宅（桜井駅周辺）



戸建住宅（朝倉台）

商業地の景観

J R三輪駅周辺などでは、生活道路沿いに商店が連なる昔ながらの商店街の景観が見られます。一方、中心市街地や幹線道路沿いなどでは道路整備にあわせ、大型の商業施設が立地する新たな商業地の景観も目立ち始めています。



商店街（三輪駅周辺）



大規模商業施設（市街地）

広域幹線道路沿道の景観

国道169号や中和幹線の沿道などでは沿道型の商業施設が立地しています。このうち国道169号では個性豊かな店舗の立地によって一定のにぎわいを見せていますが、広告物の掲示方法などに関する統一がなく、地域本来の景観と調和していない景観も見られます。

中和幹線沿道については開発が進んでいない地区もみられ、このような区間では現在も山並みと田園が織り成すのどかな景観も見られます。



幹線道路沿道（国道169号）



幹線道路沿道（国道165号）



幹線道路沿道（国道169号バイパス）



幹線道路沿道（中和幹線）

(4) 歴史文化の景観

古墳・遺跡

本市が特に古墳時代において国の中心であったことから、市内には多くの遺跡・古墳があります。箸墓古墳や茶臼山古墳などの大型の前方後円墳は景観的に特徴のある存在となっています。



箸墓古墳



茶臼山古墳



纏向石塚古墳



勝山古墳



ホケノ山古墳



山田寺跡

社寺

本市には日本最古の神社といわれる大神神社、大化の改新のゆかりの地である談山神社、多くの人々の信仰を集めている長谷寺など由緒ある歴史文化的景観が多くみられます。

これらは、建築物や建造物単体の景観資源としてだけでなく、四季折々に変化する自然や門前町などの周辺景観と一体となった景観として見られます。



大神神社



談山神社



長谷寺



安倍文殊院（桜井市観光HP）



聖林寺



桧原神社

歴史的道筋の景観

本市には山の辺の道をはじめ、伊勢街道や多武峯街道など歴史的な道筋が多く存在します。これらの道筋では由緒ある社寺や当時の雰囲気を感じるまちなみなどが残されている箇所も少なくありません。



山の辺の道



伊勢街道



多武峯街道



忍坂街道



大和長寿道



磐余の道



古い家並みが残る門前町（初瀬地区）



古い家並みが残る道筋（大神神社参道地区）

(5) 眺望

眺望には上から見下ろす眺望と下から見上げる眺望があります。このうち、見下ろす眺望については山の辺の道などから眺める大和平野や大和三山の眺め、また、與喜天満宮神社から眺める初瀬門前町の眺めなどがあります。

一方、見上げる眺望については大和平野から眺める三輪山が代表的なものとしてあげられます。三輪山は古くから信仰の対象となっており、その象徴的な視対象として市民に広く親しまれています。



山の辺の道から大和平野への眺望



聖林寺から市街地への眺望



長谷寺への眺望（桜井市HP）



與喜天満宮神社から初瀬地区への眺望



大神神社大鳥居から三輪山への眺望



国道169号周辺の田園から三輪山への眺望



箸墓古墳周辺から三輪山への眺望



金屋河川敷公園から三輪山への眺望

(6) その他の景観

重要な建築物の景観

本市には文化財的にも重要で景観的にも優れた建築物が存在します。その代表的なものとして、JR巻向駅東側の穴師地区に立地する「堀井家住宅」は、昭和前期に建てられた木造2階建、瓦葺の構造をもった伝統的な建築物として国指定の登録有形文化財となっています。

また、初瀬地区の「山田酒店（茶房長谷路）主屋」「廊坊家住宅」も、江戸時代末期に建てられた建物で、「堀井家住宅」と同じく国指定の登録有形文化財として大切に保存されています。これらの貴重な建物は、周囲の田園風景やまちなみとも調和し、市の重要な景観資源の一つとなっています。



堀井家住宅（主屋）
（国指定文化財等データベース）



山田酒店（茶房長谷路）主屋

重要な樹木の景観

本市における重要な樹木の景観としては、主に社寺境内に残る巨樹や優れた樹林などがあげられます。その代表的なものをあげると、音羽山観音寺の「お葉つきイチョウ」や満願寺の「八講桜」などがあげられます。このうち音羽山観音寺の「お葉つきイチョウ」は、推定樹齢500年にもなる大木であるとともに、葉に実が付く植物学上貴重なもので、県指定天然記念物にも指定されています。



お葉つきイチョウ（桜井市HP）



八講桜（桜井市HP）

祭り、伝統行事、イベント

本市には「お綱祭り」や「大和さくらい万葉まつり」などの伝統行事やイベントが数多くあります。このような伝統行事は、地域の歴史を伝える貴重な景観です。



お綱祭り（桜井市HP）



大和さくらい万葉まつり

屋外広告物

屋外広告物は建築物とともに景観の一部を構成する要素ですが、大規模で色彩の派手なものが使用されることにより、まちの美観や自然景観に大きく影響することがあります。このような屋外広告物は主に中心市街地や幹線道路沿道などでよく目にします。



建物を利用した屋外広告物（桜井駅周辺）



道路沿道の屋外広告物（国道169号）



道路沿道の屋外広告物（国道169号）



道路沿道の屋外広告物（中和幹線）

3 . 景観の構造

景観特性に基づき、景観のまとまりを点的景観、面的景観、軸的景観として分類します。

このうち面的景観については大きく市街地景観、田園景観、山地・丘陵地景観の3つに区分し、整理するとともに、軸的景観については、景観の骨格を形成し、それぞれの面的景観を特徴づける役割を担っている重要な構造として道路及び河川の2つの「景観軸」をあげます。これらの軸上では、立ち止まって他の景観資源を眺めたり、移動に伴う連続性や変化による景観を楽しむことができます。また、景観軸そのものが特徴ある景観資源となっていることもあります。

一方、市街地から望むことができる象徴的な山や、歴史文化的景観など優れた景観を有する地域については、点的な景観として代表的なものを位置づけることとします。

(1) 面的景観

山地・丘陵地景観

本市の東部と南部にかけて大和平野から大和高原に続く緑豊かな山地・丘陵地が広がっています。これらのエリアでは豊かな自然環境が残されているとともに、山間に形成される集落やそば畑、棚田など人々の生業の風景も垣間見ることができます。また、市域を取り囲むように位置している三輪山や鳥見山などの山肌は市街地から眺めることのできる“緑の縁”として重要な役割を担っています。

田園景観

主に市街地の北部や南部で農地やため池、集落からなるのどかな田園景観が見られます。これらの農地や集落地が創り出す景観は、青垣を背景として古くから人々の生業とともに形成されてきた景観であり、遮へい物の少ない広がりのある空間を有するとともに、古墳や遺跡、社寺といった歴史的文化遺産の景観資源も加わり“日本のふるさと”をイメージさせる特徴ある景観となっています。

市街地景観

幹線道路や鉄道が各方面から交差し、交通の要衝となっているほか、日常生活面など、市民生活の中心となるにぎわいのみられるエリアです。市街地の大部分は平野部の多い地形条件のもと桜井駅を中心として比較的、高密度な市街地が広がっています。従来は古くからの戸建住宅や農地が混在する比較的のどかな景観もみられましたが、近年では幹線道路の整備など交通利便性の向上にともない、高層住宅や沿道型の大型商業施設が立地しつつあり、景観が大きく変化しています。

(2) 軸的景観

広域幹線道路沿道景観

景観の眺望点のひとつに道路があげられます。これらの多くは、市内を移動する車などから車窓越しの景観に対する重要な軸線となります。

南北方向については国道169号と国道169号バイパスが通っており、道路の東側には本市を代表する象徴的な三輪山が随所でみられるとともに、大神神社の大鳥居やのどかな田園景観を望むこ

ともできます。

東西方向については中和幹線と国道165号が通っており、にぎわいのある市街地から緑豊かな山間部まで多様な景観エリアを結んでいる点が、この軸の特徴としてあげられます。市街地を通る区間については沿道型商業施設が立地し、にぎわいのある景観が形成されているほか、山間地の区間では、伊勢街道に沿って通っていることから、沿線には、古くからの集落や門前町が点在し、これらをつなぐ景観軸として重要性が高いと考えられます。

街道景観

主に車からの視点で眺められることが多い幹線道路軸に対し、街道軸は歩行者の視点で捉えることが多い景観軸となります。具体的には南北方向に通る「山の辺の道」「多武峯街道」「忍坂街道」「磐余の道」、東西方向に通る「伊勢街道」などが対象となります。

このうち山の辺の道は三輪山から北へ連なる山裾に沿って通っており、沿道には大神神社や松原神社といった歴史的文化遺産が数多く存在しています。また、景観資源が多いだけでなく、随所に大和平野を望むことができる眺望点が存在することも大きな特徴となっています。

河川景観

本市には大河はありませんが、大和川（初瀬川）やその水系が市内を流れています。これらの河川は山間の溪流から市街地を経由して田園を流れており、地域ごとに変化を見せる連続した景観軸として重要な役割を担っています。

(3) 点的景観

規模の大きなものでは三輪山、比較的小さなものでは大神神社や箸墓古墳などの歴史的文化遺産や古墳などが代表的な点的景観としてあげられます。しかし、このような点的景観は単体で存在することは少なく、その多くが境内の樹林地や周辺のまちなみなどと一体になって捉えられることが多い景観です。

また、これらの建造物は本市に数多くみることができますが、その大部分が山の辺の道や街道沿いなど線状に分布していることが本市における点的景観の特徴となっています。なお、これらの道筋は国道169号や国道165号といった交通量の多い幹線道路とほぼ重複して通っており、都市的な活動の影響を特に受けやすい景観資源といえます。

象徴的景観

山並み景観は、特徴ある固有の景観として、多くの市民や来訪者に本市を印象づける景観となっています。特に大神神社のご神体ともなっている三輪山は市街地から望むことができる象徴的な景観のひとつで、古代より多くの人々に崇拜され親しまれています。

特徴的な景観を有する地域

本市を代表する特徴的な景観として纏向遺跡周辺地区、大神神社周辺地区、長谷寺周辺地区、桜井駅周辺地区などがあげられます。

纏向遺跡周辺地区

纏向遺跡周辺地区では、近年発掘調査が進められている纏向遺跡をはじめ箸墓古墳といった歴史的文化遺産が存在しており、のどかな田園景観の中に邪馬台国の時代を偲ばせる古代の歴

史文化的景観が多くみられるなど、特徴的な景観を有する地区です。

大神神社周辺地区

日本最古の神社といわれている大神神社があり、その参道には松並木や古民家などが連なる特徴的な景観を有している地区です。

安倍文殊院周辺地区

日本三文殊の一つである安倍文殊院を中心に芸能発祥の地とされている土舞台など歴史文化的遺産が多く残されている地区です。近年では周辺の開発が進み、住宅地や商業地も多く形成されています。

談山神社周辺地区

緑豊かな自然環境が残る地区で、特に大化の改新ゆかりの地である談山神社が、建立されている地区です。秋季の紅葉シーズンには多くの人々でにぎわい、四季折々に変化する自然環境を中心に特徴ある景観を楽しむことができます。

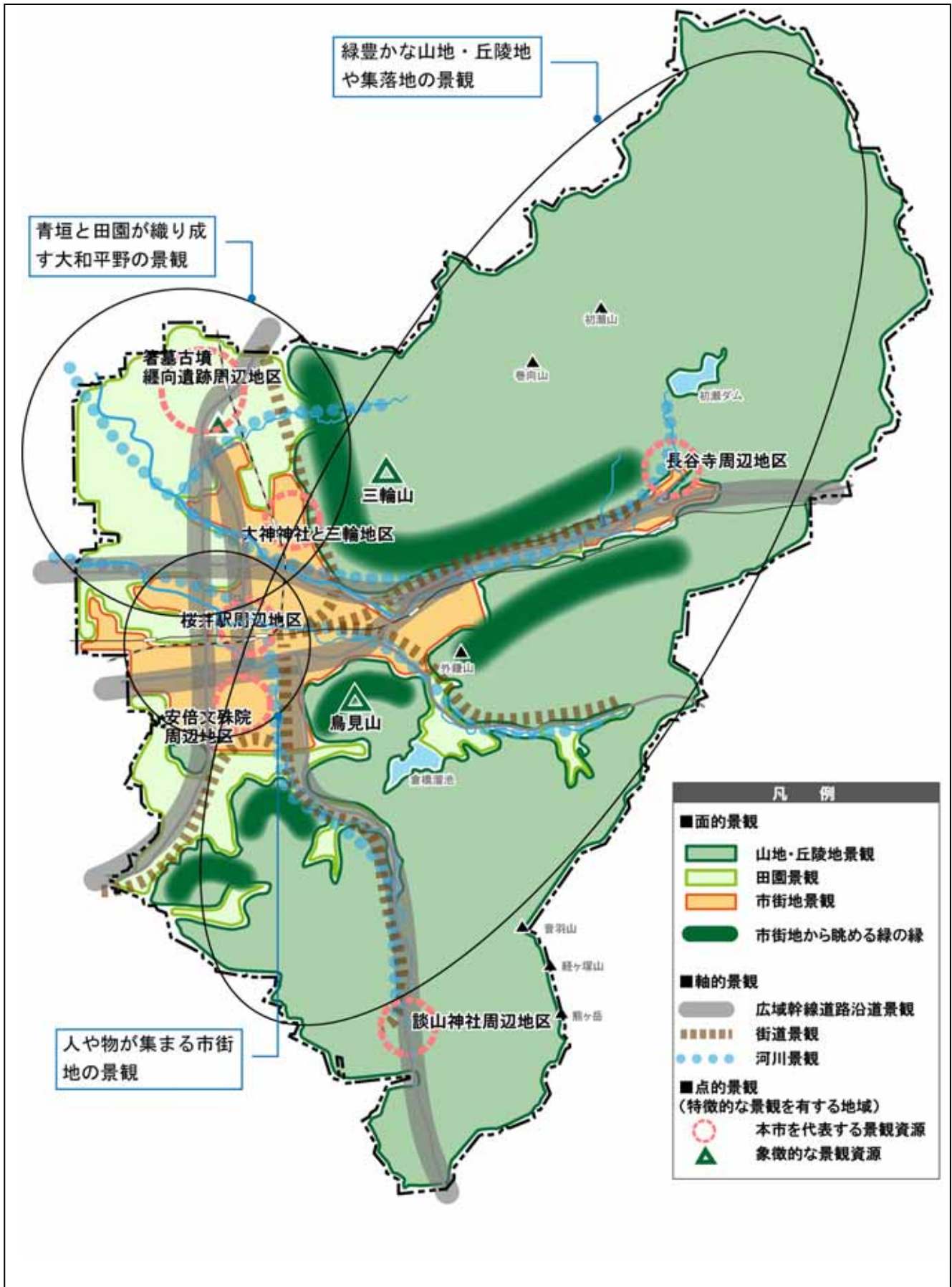
長谷寺周辺地区

本堂が国宝に指定されるなど由緒ある歴史的文化遺産となっている長谷寺があるとともに、風情ある古民家が建ち並ぶ門前町として、特徴ある景観を有する地区です。また、地域住民や専門家などによる景観まちづくりの取り組みも進められています。

桜井駅周辺地区

商業業務施設や公共施設などが集積する、都会的な景観を有する地区です。

景観構造



4 . 課題の整理

景観特性、景観構造を踏まえた、景観の課題を示します。

(1) 市民・事業者・行政の協働による景観まちづくり

景観まちづくりは、市民が生活する個々の住宅や大規模な建築物を所有する事業者の状況によって大きく影響されることから、市民、事業者の理解や協力が非常に重要となります。このため、良好な景観を形成していく必要性や景観ルールのあり方など、市民、事業者に対する景観意識の醸成や啓発等を進めていく必要があります。

また、一部の地域ではNPOによる景観づくりなども進められていますが、今後は、このような組織との協働の取り組みをさらに推進するとともに、市民・事業者等との協働を進めるための体制を確立することによって景観施策の持続的推進を図っていく必要があります。

普及啓発活動の推進

本市には「初瀬地区」や「三輪地区」、「本町通地区」など、地域単位で景観まちづくりに積極的に取り組む事例がありますが、本市全体で見れば多いものではありません。今後は、住民が主体となった良好な景観まちづくりが広がるよう、普及啓発活動を積極的に進めていく必要があります。

地域特性に応じた住民主体のルールづくり

特に山の辺の道、伊勢街道などの歴史的道筋には由緒ある歴史資源とともに、江戸時代の面影を残す歴史的まちなみが多く残っています。今後、身近な生活空間を含めてこのような当時の歴史を伝えるまちなみ景観を保全していくためには、地域住民が主体となって地域特性に応じたきめ細かなルールづくりを進めていくことが必要です。

(2) 市街地における魅力の向上

国道169号沿道や中和幹線沿道などにおける大規模店舗の立地などにより、中心市街地の商店街においては衰退や空洞化などが懸念されていますが、景観面においても高層住宅の立地、空き家、空き地の発生などにより、かつてのまちなみ景観が失われつつあります。また、近年では産業構造の変化により、工場跡地に住宅が進出し、住工混在の雑多な景観も形成されつつあります。

このため、駅周辺部などを中心に市街地のにぎわいや、かいわいを維持しながら、周辺の眺望景観やまちなみなどに配慮した魅力ある景観形成が必要となっています。

一方、開発団地などで第1種低層住居専用地域に指定されている戸建住宅地では、街路樹や生垣などの緑によって潤いのある景観が形成されています。このような住宅地については、今後も適切な規制誘導手法の活用により良好な住宅地の景観を維持していくことが望まれます。



また、今後新たに開発が予定されている市街地等では、地域住民の主体的な発案による景観の創出を促し、住民主体の協定を締結するなど、様々な手法を活用しながら良好な景観を形成していくことが望まれます。

その他、市街地では違法駐車や放置自転車などの問題が発生しており、利用者のマナー向上に向けた意識啓発が必要となっています。

(3) 広域幹線道路沿道における周辺景観と調和した景観の誘導

道路は市内を移動する際の重要な眺望点となります。特に国道169号や中和幹線などの幹線道路は本市を訪れる人に最初に目に触れる場所であり、都市の印象や魅力を伝える上で特に重要なポイントとなり、時折、三輪山を眺望することもできます。一部の区間では奈良県の重点景観形成区域に指定され、立地する施設の規模や高さが制限されていますが、沿道に立地する商業施設や無秩序に立地する屋外広告物などによって、眺望景観が遮られたり、全体的に雑多な景観となりつつあります。



このため、幹線道路沿道においては、適正な景観の規制誘導手法を活用しながら、三輪山など遠景に対する景観の配慮をはじめ、周辺のまちなみや田園景観と調和した連続性のある景観形成が必要となっています。

(4) 豊かな自然環境の保全

山地・丘陵地景観の保全

緑豊かな山林は、市域の景観に潤いを与えると同時に、さまざまな景観資源の背景となるなど重要な景観資源となっています。本市ではこのような自然景観に対し、地域環境の適正な保全を図ることを目的に自然公園区域や景観保全地区が市域一帯の山林などに指定され、一定の保全措置がなされています。



今後も自然の大切さなどを市民や事業者に対して周知しつつ、建築や開発行為などの適切な誘導を図っていく必要があります。

田園景観の保全

大和平野に広がる田園は、そこに点在する古墳や集落、青垣と称される周囲の山々とともに本市を特徴づける生業の景観資源となっています。

また、笠地区などでは棚田やそば畑など特徴的な農業の生業の景観も見られます。



しかし、このような景観は、市街地の拡大をはじめ、人々の生活様式や意識の変化とともに、失われたり、あるいは雑多な景観に変わりつつあるため、開発行為や広告物に対して適正な誘導や規制強化を図るなど、その景観の維持・保全を図っていく必要があります。

河川など水辺景観の保全・再生

大和川や寺川などの河川、その他、ため池やダム湖などは、生活用水や農業用水として人々の生活に大きな恵みを与えています。また、ホタルなど水生生物の貴重な生息空間ともなっています。しかし、一部の地域では水質の悪化やゴミのポイ捨てなどが発生しており、河川景観が損なわれているという指摘もみられるほか、景観的な潤いが少ない箇所もみられます。



こうした水辺景観については、人の目にも触れやすく、都市の資質や品位などが問われやすい環境であることから、今後も水質の保全と維持をはじめ、河川整備に対する景観的配慮、また、地域住民と行政が協力し、維持管理などに取り組んでいく必要があります。

(5) 象徴的な山並みなど眺望景観の保全

三輪山を代表とする山や山並みの眺望は、県の眺望景観調査をはじめ市民アンケート調査などにおいても、本市を代表する景観資源との認識が非常に強い景観です。特に市街地を取り囲む山々は青垣と称され、古くから地域の人々に愛され親しまれています。



このような眺望景観に対しては、眺望を妨げる高層や大規模建築物をはじめ、周辺の景観と調和しない屋外広告物などを適切に規制・誘導するなど、その景観の保全が必要です。

また、眺望点については、今後も市民意見などを参考に対象地を明確にするとともに、「眺望点」としての魅力を高めるため、安全性の確保や休憩スペースの整備などについて検討していく必要があります。

(6) 歴史文化的景観と調和した景観の形成

邪馬台国の時代からヤマト政権の時代にかけて古代国家成立の舞台となった本市では、遺跡・古墳がいたるところに散在しています。また、大神神社や長谷寺、談山神社、安倍文殊院、聖林寺などの歴史的にも由緒ある社寺をはじめ、文化財的にも非常に価値の高い景観資源が数多く存在します。



これらの景観資源は、歴史文化的景観のシンボルであり、市民はもとより多くの観光客の視線にも触れます。また、単体の景観資源としてだけではなく、周辺のまちなみや自然などの多彩な景観資源によって成り立っている場合が多く見られます。

このため、今後も景観資源の適切な保存・活用とともに、田園や自然景観の維持管理、集落やまちなみの維持活用、修景などによって由緒ある景観資源がより引き立つような施策を展開していく必要があります。

また、歴史文化的景観の中には、「お綱祭り」「けまり祭り」といった祭りなど、古くから伝わる無形文化財的な景観も含まれますが、これらの心象的な景観についても地域住民等の協力のもと、永続的に継承していく必要があります。



(7) 景観的特徴を有する建造物や樹木の保全

伝統的で地域の特徴となっている優れた景観の建築物や、学術上、重要な樹木については、文化財として大切に保存されているものもありますが、このほかにも優れた景観を有する建造物や樹木で特に保全策が講じられていない場合には、外観や形状の変更に配慮した保全が必要です。

